

科目名	日本語		英文表記	Japanese		2012年3月26日			
科目コード	5006								
教員名: 吉川 友子 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
全学科	5年	必	履修	1単位	講義	後期			
科目目標	技術者としてのコミュニケーションに十分な日本語の文法表現を身に付け、語彙を増やし、それらを統合してコミュニケーションに生かす能力を総合的に高める。								
総合評価	後期評価を、定期試験(中間・期末)の平均(80%)+課題(20%)で行い、60%以上を合格とする。								
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法					
	①	日本語の構成を理解し、論理的に考察することができる(機械C-5、情報C-1、メディアC-4、生物C-2)。	⇒	日本語構文を正確に読解し、論理的に考察することができるか、定期試験および読解・演習の課題で評価する。					
	②	日本語能力試験N1相当の語彙・文法表現力をつける(機械C-5、情報C-1、メディアC-4、生物C-2)。	⇒	語彙・文法表現が身についているか、定期試験および課題で評価する。					
	③		⇒						
				⇒					
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	◎		○	JABEEプログラム教育目標	C-5	C-1	C-4	C-2
授業概要、方針、履修上の注意	実践的な日本語の文法や表現を学び、日本語能力試験N2合格相当～N1相当の力をつける。授業では課題を課し、その提出状況も評価する。								
教科書・教材	『日本語能力試験対策・日本語総まとめN2(文法/語彙)』佐々木仁子他著(アスク出版) 『留学生のための現代日本語読解』岩佐靖夫他(Jリサーチ出版) 『日本語能力試験N1・N2 試験に出る読解』筒井由美子他著(桐原書店)								
授 業 計 画									
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習 (予習・復習)内容		
1		2							
2		2							
3		2							
4		2							
5		2							
6		2							
7		2							
8		2							
9		2							

10		2		
11		2		
12		2		
13		2		
14		2		
15		2		
期末		[2]		
16	コースインフォメーション・N2	2	履修内容概観・学生のニーズ調査、N1語彙第3週	語彙課題
17	N1文法・N1語彙	2	N1文法第5週 / N1語彙第3週	文法・語彙課題
18	N1文法・N1語彙	2	N1文法第5週 / N1語彙第3週	文法・語彙課題
19	N1文法・N1語彙	2	N1文法第5週 / N1語彙第3週	文法・語彙課題
20	N1文法・N1語彙	2	N1文法第6週 / N1語彙第3週	文法・語彙課題
21	N1文法・N1語彙	2	N1文法第6週 / N1語彙第3週	文法・語彙課題
22	N1文法・N1語彙	2	N1文法第6週 / N1語彙第3週	
23	後期中間試験	2	以上の習熟度を評価	
24	N1文法・N1語彙	2	N1文法第7週 / N1語彙第4週	文法・語彙課題
25	N1文法・N1語彙	2	N1文法第7週 / N1語彙第4週	文法・語彙課題
26	N1文法・N1語彙	2	N1文法第7週 / N1語彙第4週	文法・語彙課題
27	N1文法・N1語彙	2	N1文法第8週 / N1語彙第4週	文法・語彙課題
28	N1文法・N1語彙	2	N1文法第8週 / N1語彙第4週	文法・語彙課題
29	N1文法・N1語彙	2	N1文法第8週 / N1語彙第4週	文法・語彙課題
30	N1文法・N1語彙	2	総復習	
期末	後期期末試験	[2]	以上の習熟度を評価	
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
①				
②				
③				
備考欄				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)